

平成25年9月

澤 滋 学位論文審査要旨

主 査 黒 沢 洋 一

副主査 兼 子 幸 一

同 尾 崎 米 厚

主論文

Delayed recovery of caregivers from social dysfunction and psychological distress after the Great East Japan Earthquake

(東日本大震災被災介護者の社会機能障害と心理的苦痛の回復遅延)

(著者：澤滋、尾崎米厚、小石川比良来)

平成25年 Journal of Affective Disorders 148巻 413頁～417頁

参考論文

1. Impact of the Great East Japan earthquake on caregiver burden: a cross-sectional study

(東日本大震災の介護者負担への影響：横断研究)

(著者：澤滋、高瀬正幸、能重和正、富安哲也、川上知恵子、小石川比良来、尾崎米厚、岸本拓治)

平成25年 Psychiatric Services 64巻 189頁～191頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は東日本大震災後被災した知的障害者施設で勤務する介護者の心的負荷を検討したものである。震災後2つの異なる時点において被災の有無、性・年齢・勤務年数、General Health Questionnaires 12 (GHQ-12)を測定した。被災した介護者は被災していない介護者と比べよりGHQ-12が高いことが示された。また介護者の社会機能障害がフォローアップ期間を通して遷延していることが示された。さらにフォローアップ期間を経て、介護者の心理的苦痛と被災の間に統計学的に有意差が示された。追加解析として、被災の有無とアルコール飲酒の関係が調べられたが、本研究では有意差が得られなかった。本論文の内容は、災害時の精神医学の分野で、介護者の心理的負担と被災が関係し、遷延していることを示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。